

平成12年度

稲作情報

浜通り版
第3号

平成12年6月22日

「ふくしま新世紀農業・農村確立運動」県推進本部

発行：福島県の米稲作情報編集会議

編集：福島県農業試験場相馬支場

直播栽培等新技術の導入と地域特性を活かした米づくりを進めよう！

葉いもち防除と水管理の徹底を！！

当面する技術ポイント

置き苗の早期処分と葉いもちの防除

- 1 葉いもちは、置き苗では6月6日に、本田では16日とともにいわき市で発生が確認された（表3）。
本年の発生は置き苗で3日、本田で1日平年より早い。
- 2 補植用の置き苗は、葉いもちの発生源になるため早急に埋没処分する。
- 3 葉いもちの発生が確認された圃場では、直ちに散布剤による防除を実施する。
また、粒剤による葉いもち防除を予定している場合は早急に実施する。

現在の生育と今後の水管理

- 1 出葉からみた生育は平年より5日程度早く、草丈は長い。茎数は平坦部では多く、山間部でも平年並み～多い（表1）。また、葉色の低下は6月中旬より一部圃場で認められる。
- 2 目標茎数を確保した圃場では、早急に中干しを実施し、無効分げつの抑制及び根の健全化を図る。
実施時期は、遅くとも幼穂形成始期までとする。
- 3 平坦部のひとめぼれでは、7月5日頃より幼穂形成が始まると予想される（表4）。
前歴保温効果を図るため、この時期に深水管理を行い、減数分裂期の深水管理をより効果的にする。
深水管理の水深は、幼穂形成期は5～10cm、減数分裂期は15～20cm必要である。

カリと穂肥の適期施用

- 1 稲体の充実を図るため、出穂前40～35日にカリの追肥を成分で3～4kg/10a行う。生育量が少ない場合には塩化カリ、並み～多い場合には珪酸カリが有効である。
- 2 つなぎ肥は、側条施肥等の葉色低下や生育量不足の水田以外では行わない。
- 3 平坦部のひとめぼれの穂肥適期は、出穂前25～20日で7月2半旬と予想される（表4）。

直播栽培のポイント

A 直播共通

- 1 生育は前年に比べ1葉程度遅れているが、ほぼ順調である（表2）。一部圃場でイネヒメハモグリバエやイネドロオイムシの発生が認められる。
- 2 葉いもちの発生は移植と同時期なので、早急に粒剤等で防除する。

B 湛水直播

- 1 分げつの促進を図るため、浅水や間断湛漑を継続する。また、中干しに備えて圃場内の排水溝を整備しておく。
- 2 中干しは、有効茎（500本/㎡程度）が確保されたら早めに行い、程度は移植栽培より強めとする。
- 3 穂肥は幼穂形成期～減数分裂期に行うが、葉色が濃い場合は穂肥を遅らせるか施用しない。

C 乾田直播

- 1 中干しは行わず、浅水や間断湛漑を継続する。
- 2 穂肥は幼穂形成期に行うが、葉色の低下が著しい場合にはつなぎ肥を施用する。

大豆作のポイント

- 1 大豆3～5葉期を目安に、梅雨の合間を見て、中耕培土を1～2回行う。
- 2 雑草が広葉主体の場合は中耕・手取り除草となるが、イネ科主体の場合はイネ科雑草2～5葉期に生育期処理剤を散布すると除草効果が高い。

気象経過と今後の予想

1 気象経過：6月1・2半旬は高温多照、3半旬は少照に経過。

2 今後の予想

6月24日～6月30日：低気圧や高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変わるでしょう。平年に比べ晴れる日が多いでしょう。平均気温は高い見込みです。

7月1日～7月14日：低気圧や高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変わるでしょう。平年に比べ晴れる日が多いでしょう。平均気温は高い見込みです。

生育状況

表1 生育状況（相馬支場、各普及センター作柄判定圃）

品 種 名	年 次	6月20日 主稈出葉 各普及セ 6月20日				判定圃場	6月20日		特記事項
		草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m ²)	8葉 (日)	9葉 (日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	
初 星	2000	42.0	8.3	747	6.9	6.18	原鹿本年	41.6 610	作柄判定圃の品種 飯館：あきたこまち 葛尾：まいひめ、三和：初星 その他：コシヒカリ 相馬支場の生育 草丈は長く、茎数は多い。 出葉は5日程度進んでいる。 管内の生育 草丈は長い。 茎数は平坦部では多く、山間部でも平年並み～多い。
	1999	41.4	8.3	816	6.11	6.17	島平本年	38.9 534	
	平年	33.3	7.8	613	6.15	6.22	飯本年	35.1 356	
ひとめぼれ	2000	42.6	8.8	766	6.7	6.15	町館本年	- -	
	1999	41.6	8.6	869	6.9	6.15	双浪本年	45.6 576	
	平年	33.7	7.9	573	6.14	6.21	江平本年	36.9 493	
コシヒカリ	2000	41.1	8.4	562	6.9	6.17	葛本年	43.3 237	
	1999	43.0	8.3	831	6.12	6.18	葉尾本年	33.7 238	
	1994	37.8	8.3	733	6.11	6.17	い勿本年	46.2 530	
	1990	45.5	8.9	816	6.8	6.14	わ来本年	37.5 589	
	1987	36.8	8.5	804	6.9	6.17	き三本年	37.6 567	
	平年	35.7	7.7	501	6.15	6.22	和平本年	29.4 394	

表2 直播圃場の生育概況（品種：ひとめぼれ 6月19～20日調査）

調 査 地 点	直 播 の 種 類	年 次	播 種 期 (月日)	苗 立 数 (本/m ²)	茎 数 (本/m ²)	草 丈 (cm)	葉 数 (葉)	特 記 事 項
農試相馬	早 播 乾田条播	2000	4.14	114	232	31.4	6.0	
		1999	4.15	174	332	30.3	7.4	
	標準播 乾田条播	2000	4.26	161	351	31.0	5.7	
		1999	4.23	217	494	28.3	6.6	
原町市高	乾田条播	2000	4.17	193	317	28.9	5.4	
		1999	4.23	143	507	30.0	7.1	
相馬市柏崎	乾田条播	2000	4.15	181	238	31.4	-	
浪江町立野	乾田条播	2000	4.16	171	201	28.0	-	
いわき市大浦	湛水条播	2000	5.1	77	406	42.2	8前後	
								品種：まなむすめ

注) 場内試験の生育は昨年に比べ1葉程度遅れている。

当面する技術ポイントの基礎データ

表3 葉いもちの発生状況(病害虫防除所)

調査地点	調 査 圃 場 数	置 苗 放 置 圃 場 数	残 存 率	発生圃場数	
				置 苗	本 田
北 部	40	3	7.5	0	0
浜 中 部	28	5	17.9	0	0
通 南 部	45	9	20.0	2	0
り 山 間 部	27	0	0	0	0
合 計	140	17	12.1	2	0

注) 6月19～20日調査、なお前回調査地点のいわき市渡辺において6月16日に本田においていもち病確認

表4 本年の幼穂形成期予想(農試相馬)

	初 星	ひとめぼれ	コシヒカリ
本年	(7.7)	(7.8)	(7.18)
前年	7.6	7.10	7.20
平年	7.12	7.13	7.23

注 6月20日現在の生育より予想。

幼穂形成期は主茎の80%以上が2mmに達した日とし、ほぼ出穂前23日に相当する。

幼穂形成始期は幼穂形成期の約3日前となる。

あぜ道

「田んぼを見ながら畦を歩く時の足音が、稲に一番効く肥料なんだよ」
これは、ある先輩が教えてくれた言葉です。先輩も昔、この言葉を教えられ、今でも印象に残っていると話してくれました。

今、私は、この言葉を思い出しながら畦道指導会へ向かう毎日です。

(いわき地域農業改良普及センター 一年生普及員 Y.S)